

南海トラフ巨大地震から身を守る！

内閣府・西尾市 地震・津波防災訓練

防災関係機関との連携を強化し、地震・津波に対する防災意識や対応能力の向上のため、内閣府と共催で防災訓練を実施します。

日時 11月5日(水) 午前9時～正午

場所 坂田球場

※駐車場は、一色B & G海洋センター駐車場をご利用ください。

内容 災害情報収集・伝達訓練、倒壊ビルからの救出救助訓練、建物火災消火訓練、災害対策車両の展示、津波救助艇の試乗等の各種体験コーナーなど

参加機関 地域の自主防災会、陸上自衛隊、国土交通省、海上保安庁、愛知県、愛知県警察など



その他 ①訓練は自由に見学することができます。
②一色町佐久島地区では緊急物資運搬訓練や傷病者搬送訓練、吉良町白浜地区では高台への避難訓練などを行います。

「釜石の奇跡」の立役者、片田教授が語る

市民の皆さんに期待する防災への取り組み姿勢

—愛知県が発表した南海トラフ巨大地震の被害予測調査結果では、津波による浸水などで西尾市は甚大な被害が予測されていますが、どう捉えるべきですか。

被害想定は市民の皆さんに大きな不安を与えたと思いますが、想定発表前と後で、市民の皆さんと海との関係や生活スタイルは、実は何も変わっていません。つまり、目の前の「海」におびえているのではなく、想定という「数値」におびえてしまっているのではないのでしょうか。

私たちが生活していく上で、交通事故や犯罪、そして病気など、リスクの高いものはもっとあります。数百年や千年に一度発生するかどうかの地震、津波にむやみにおびえ、無気力になって防災そのものを諦めてしまうのではなく、理性的、合理的に危機に対処することが求められます。

西尾市は、豊かな自然に囲まれた、とても住みやすいまちだと思っています。だからこそ、時に起こる自然の災いをうまくやり過ごすことができるような方を主体的に身につけることは、このまちに住んでいく上で、不可欠なことではないのでしょうか。

—17万人市民まるごと防災訓練にはどのように取り組むべきでしょうか。

全市民参加型の「17万人市民まるごと防災訓練」は、行政主導ではなく、地域や住民個人が主体的かつ積極的に取り組む、新しい形の防災訓練だと思います。

西尾市津波防災アドバイザー



群馬大学大学院 理工学府 教授
片田敏孝氏

シナリオ通りに動く「受け身的」な訓練では、防災に対する意欲の低下を招き、自分の命を自分で守ることのできない住民を増加させてしまいます。

当日は、17万人の市民全員が職場や学校、家庭など、それぞれの場所や立場で必要とすべき訓練を自ら考え、実際に行動に移してください。

特に、市内の各学校では、子どもたちが津波からの避難を軸とした訓練に一生懸命取り組むと聞いていますが、皆さんの家庭においても率先避難について、しっかりと話し合うことが重要です。そうすることで家庭内に防災文化として定着し、後に災害に強い家庭や地域をつくりだしていくはずですよ。

厳しい想定が出た今だからからこそ、防災に対する機運を高め、南海トラフ巨大地震からの「犠牲者ゼロ」を目指してください。

※「釜石の奇跡」とは、東日本大震災により大津波が発生する中、岩手県釜石市の小・中学校では、約3,000人が避難し、生存率99.8パーセントという奇跡的な数字を記録したことです。

津波防災の日

11月5日水 午前9時スタート

17万人市民まるごと防災訓練

南海トラフ巨大地震の発生に備え、市内全ての家庭、自主防災会、保育園や幼稚園、学校、事業所など、全市民が一斉に防災行動を展開する「17万人市民まるごと防災訓練」を実施します。

昨年に引き続き行うこの訓練は、17万人の全市民がそれぞれの立場で参加し、防災意識を高めることを目的としています。今年度は、「内閣府・西尾市 地震・津波防災訓練」と併せて実施し、さらなる防災力の強化を目指します。

訓練の流れ

STEP 1 午前9時 地震の発生

午前9時に南海トラフを震源とするマグニチュード9.0、震度7の巨大地震が発生したものと想定します。



STEP 2 情報の伝達

防災行政無線およびNTTドコモ、KDD I(a u)、ソフトバンクの携帯電話による緊急速報メールで、市内全域の市民に地震の発生と大津波警報の発令を伝達します。携帯電話は一部対象外の機種もあります。



STEP 3 市民の一斉防災行動

地震の発生と情報の伝達を合図として、シェイクアウト訓練を行った後、家庭や職場など、その時のさまざまな場所で、それぞれの立場・状況に応じた防災行動を取ってください。



シェイクアウト訓練とは

2008年にアメリカで始まった新しい形式の地震防災訓練で、指定された日時にそれぞれの居場所で、①姿勢を低く、②頭を守り、③じっとする、の3つの身を守る安全行動を取り、日ごろの防災対策を確認するきっかけづくりとするものです。

しせいをひくく



あたまをまもり



じっとする



◀昨年度、福地中学校で行われた避難所開設訓練

訓練参加登録のお願い

訓練への積極的かつ自主的な参加表明として、事前の参加登録にご協力ください。昨年度は254団体35,381人の皆さんに登録していただきました。

登録方法① インターネットによる登録

市ホームページ (<http://www.city.nishio.aichi.jp/>) の登録フォームに必要事項を入力してください。

トップページ→お役立ち情報「防災・災害」→「防災」→「17万人市民まるごと防災訓練」

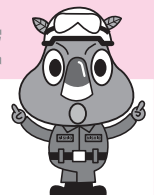
登録方法② 電話・ファクスによる登録

電話またはファクスで、氏名(団体名)・住所・電話番号(ファクス番号)・防災訓練の内容・参加予定人数・ホームページへの掲載の可否を危機管理課防災担当 (☎65・2137/FAX53・7512) へ。詳しくは、危機管理課または市内公共施設にあるチラシをご覧ください。お問い合わせください。

※訓練参加登録した方の氏名(団体名)・訓練内容・参加予定人数を、承諾した方のみホームページに掲載します。

黄色いタオル作戦

当日は、安否確認を効率的、かつ迅速に行うために有効な防災行動のひとつとして、黄色いタオルを自宅の見やすい場所に掲げてください。



※地域の自主防災会などで、独自の取り組み(安否札の掲出など)を実施している場合は、その取り組みを優先してください。